

令和4年度

看護師国家試験対策 教員セミナー

看護国試専門予備校
さわ研究所

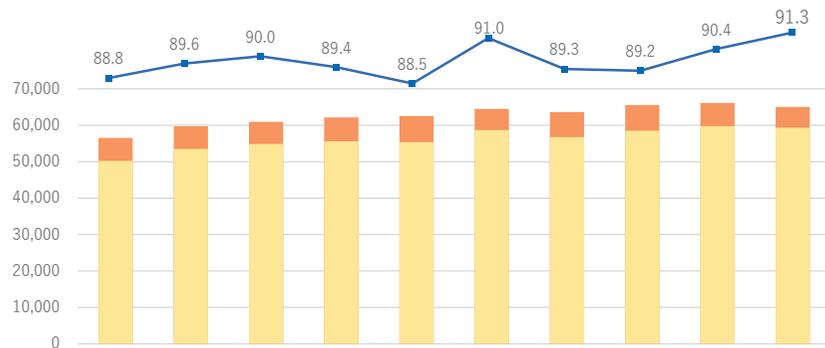
Ver.01

第111回看護師国家試験の結果

	合格者数（人）	不合格者数（人）	合格率（%）
全 体	59,344	5,681	91.3
新卒者	57,057	2,091	96.5
既卒者	2,287	3,590	38.9

02

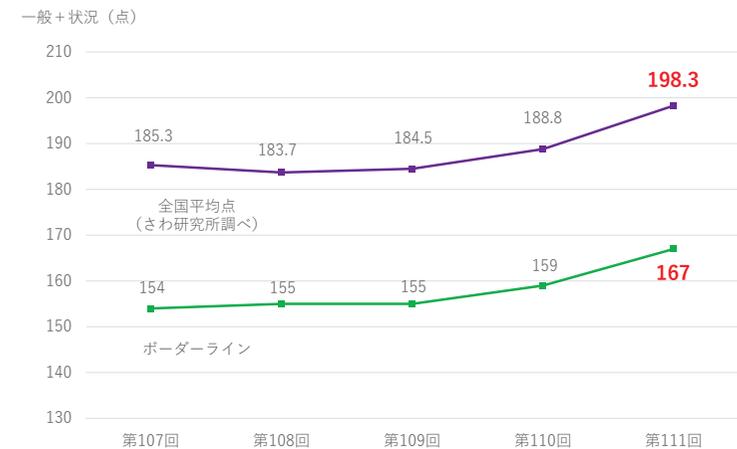
受験者数・合格者数と合格率



	第102回	第103回	第104回	第105回	第106回	第107回	第108回	第109回	第110回	第111回
受験者 (人)	56,530	59,725	60,947	62,154	62,534	64,488	63,603	65,569	66,124	65,025
合格者 (人)	50,224	53,495	54,871	55,585	55,367	58,682	56,767	58,514	59,769	59,344
合格率 (%)	88.8	89.6	90.0	89.4	88.5	91.0	89.3	89.2	90.4	91.3

03

2次判定合格基準点（ボーダーライン）と平均点



04

第111回採点除外等の取り扱いとなった問題

正解した受験者については採点対象に含め、不正解の受験者については採点対象から除外する。

[午前問題1]

労働力調査による労働力人口の令和元年(2019年)平均に最も近いのはどれか。

1. 4,800万人
2. 5,800万人
- ③ 6,800万人
4. 7,800万人

正答率 **50.2%**

[午後問題7]

ハヴィガースト,R.J.の発達課題で善悪の区別を学習するのはどれか。

- ① 乳幼児期
2. 児童期
3. 青年期
4. 中年期

正答率 **41.2%**

05

第111回採点除外等の取り扱いとなった問題

正解した受験者については採点対象に含め、不正解の受験者については採点対象から除外する。

- 1次判定合格基準点 ① 40/50点
② 40/49点
③ 39/48点

06

第111回採点除外等の取り扱いとなった問題

複数の選択肢を正解として採点する。

[午前問題6]

マズロー,A.H.の基本的欲求の階層で社会的欲求はどれか。

1. 安全の欲求
- ② 帰属の欲求 **83.6%**
- ③ 承認の欲求 **15.9%**
4. 睡眠の欲求

正答率 **99.5%**

[午前問題34]

健康を人々の権利として明記したのはどれか。

- ① 世界保健機関(WHO)の健康に関する定義 **80.0%**
2. ジュネーブ宣言
- ③ 世界人権宣言 **6.4%**
4. リスボン宣言

正答率 **86.4%**

07

医道審議会保健師助産師看護師分科会
保健師助産師看護師国家試験制度改善検討部会
報告書(一部抜粋)
令和3年3月31日

既出問題の活用は、難易度の安定化の観点からも有用であり、引き続き活用する。看護師国家試験における必修問題は、看護師にとって特に重要な基本的事項を問うものであることから、限られた範囲の中で繰り返し問うことが妥当であると考えられる。そのため、重要な基本的事項を繰り返し出題するなど、必修問題においてはより積極的に既出問題を活用していく。

過去問重視!

08

近年のICTの進展等を踏まえ、

保健師助産師看護師国家試験における

コンピュータの活用についても積極的に検討を行っていく必要がある。

改定された出題基準の適用時期については、令和5年実施の第112回看護師国家試験から適用することが望ましい。その際、令和5年実施の保健師助産師看護師国家試験から数年間は改正前のカリキュラムで学んだ受験者と改正後のカリキュラムで学んだ受験者が混在することから、当該国家試験の受験に際して、両者ともに不利益を被ることがないよう、特段の配慮が必要である。

新出題基準 必修編 ポイント

2022年3月28日発表

・小項目数

269から（ **252** ）に減少

・追加された項目

<目標III>

11. 徴候と疾患 A. 主要な症状と徴候 の小項目として

- ・嚥下障害
- ・言語障害

12. 薬物の作用とその管理 A. 主な薬物の効果と副作用（有害事象） の小項目として

- ・止痢薬（下剤に追加）
- ・免疫療法薬

<目標IV>

15. 患者の安全・安楽を守る看護技術 C. 感染防止対策 の小項目として

- ・感染経路別予防策
- ・必要な防護用具（手袋、マスク、ガウン、ゴーグル）の選択・着脱

16. 診療に伴う看護技術 D. 採血 の小項目として

- ・採血後の観察内容、採血に関連する有害事象



新出題基準 一般・状況設定編 一部紹介

2022年3月28日発表

追加項目

<人体の構造と機能>

4. 運動器系 B. 関節の構造と機能 の小項目として

- ・全身の関節

11. 消化器系 B. 消化と吸収 の小項目として

- ・排便反射

16. 生殖器系 C. 受精と発生 の小項目として

- ・初期発生と器官形成

<疾病の成り立ちと回復の促進>

3. 基本的な病因とその成り立ち B. 生体の障害 の小項目として

- ・「呼吸障害」

<成人看護学>

旧

大項目	中項目	小項目	
8. がん患者と家族への看護	B. がん患者の生活上の困難	a. 全身消耗、倦怠感、疼痛等に伴う活動制限	
		C. がん患者の治療と看護	a. 広範囲で侵襲性の高い手術療法
			b. 化学療法
			c. 放射線療法
	d. 薬学的治療		
	D. がん患者の社会参加への支援	a. 就労条件・環境の調整	
		b. 社会参加を促す要素と阻害要因	

新

大項目	中項目 (出題範囲)	小項目 (キーワード)
8. がん患者と家族への看護	B. がん患者の集学的治療と看護	手術療法と看護
		薬物療法と看護
		放射線療法と看護
		造血幹細胞移植と看護
		免疫療法と看護
	C. がん患者の社会参加への支援	就労継続・環境の調整
		社会参加を促す要素と阻害要因
		がんサバイバー、がんサバイバースHIP
	D. がん患者の家族の特徴と看護	社会資源の活用（ピアサポートを含む）
		家族が直面する課題
	家族への支援	

<母性看護学> 追加項目

大項目	中項目 (出題範囲)	小項目 (キーワード)
1. 母性看護の対象を取り巻く環境や社会の変遷	A. 母子を取り巻く環境	女性の就業率
		婚姻、離婚
		周産期医療のシステム
		在留外国人の母子支援
		母子保健法
	B. 妊娠期からの切れ目ない支援に関する法や施策	児童福祉法
		児童虐待の防止等に関する法律
		次世代育成支援対策推進法
		成育過程にある者及びその保護者並びに妊産婦に対し必要な成育医療等を切れ目なく提供するための施策の総合的な推進に関する法律<成育基本法>
		子育て世代包括支援センター<母子健康包括支援センター>
C. 働く妊産婦への支援に関する法や施策	雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律<男女雇用機会均等法>	
	育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律<育児・介護休業法>	
	労働基準法	
D. 女性の健康支援に関する法や施策	配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律<DV防止法>	
	母体保護法	

<在宅看護論 → 在宅看護論/地域・在宅看護論> 追加項目

大項目	中項目 (出題範囲)	小項目 (キーワード)
4. 地域・在宅看護実践をめぐる制度の概要	B. 地域・在宅看護におけるサービス体系の理解	訪問系サービス
		通所系サービス
		施設系サービス（入所、短期入所）
		複合型サービス（看護小規模多機能型居宅介護）
		在宅看護に関連する法令

大項目	中項目 (出題範囲)	小項目 (キーワード)
7. 在宅療養生活を支える看護	F. 在宅療養者のコミュニケーションを支えるケア	コミュニケーション能力のアセスメント
		対象のコミュニケーション能力に応じた対応
		補助機器の種類の選択と使用

第111回看護師国家試験問題 ～ AI解析結果（IRT・決定木分析）～

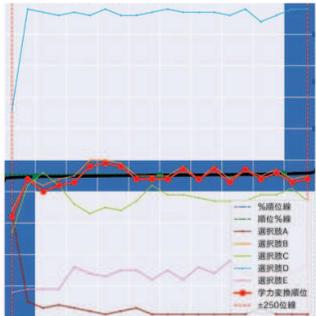
『能力スコア変換方法、能力スコア変換プログラム、および能力スコア変換装置』※

合同会社メディシンク代表 宮澤優介（医師）

※ 特許 6828869

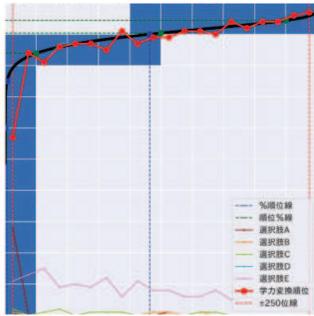
IRT解析結果 問題特性の種類

1. 正答率不変型



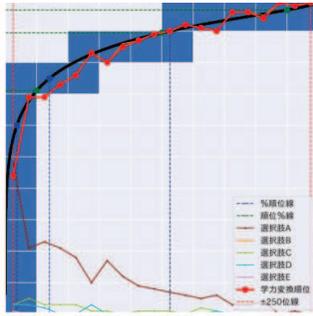
暗記型問題
思考力では解けない

2. 正答率上昇型 1度



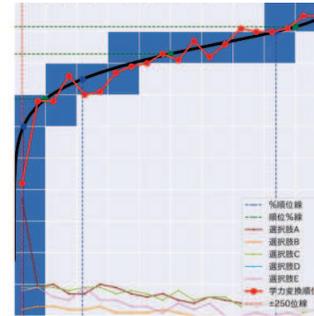
暗記型問題

3. 正答率上昇型 2度



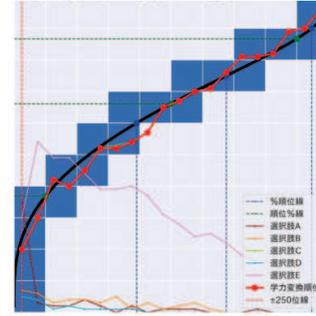
暗記型問題

4. 正答率上昇型 3度



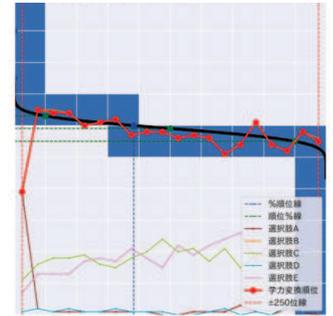
やや思考型問題

5. 正答率上昇型 4度



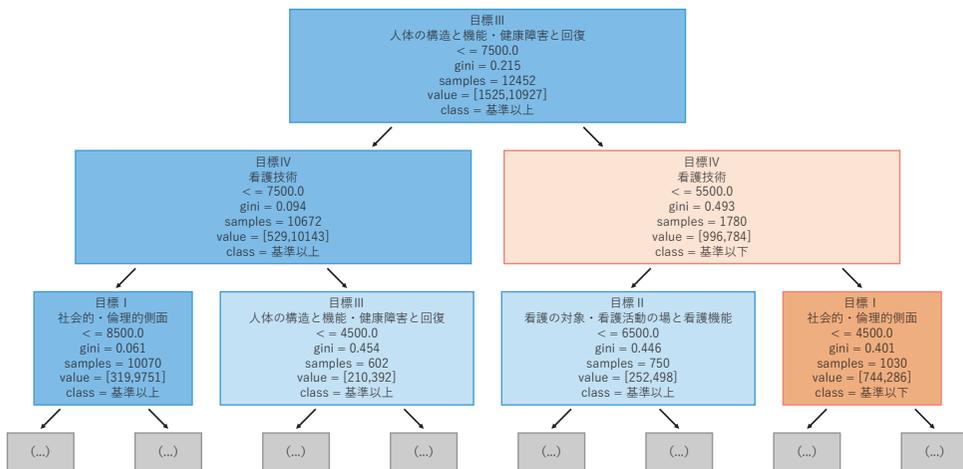
思考型問題
考えれば解く事ができる

6. 正答率下降型

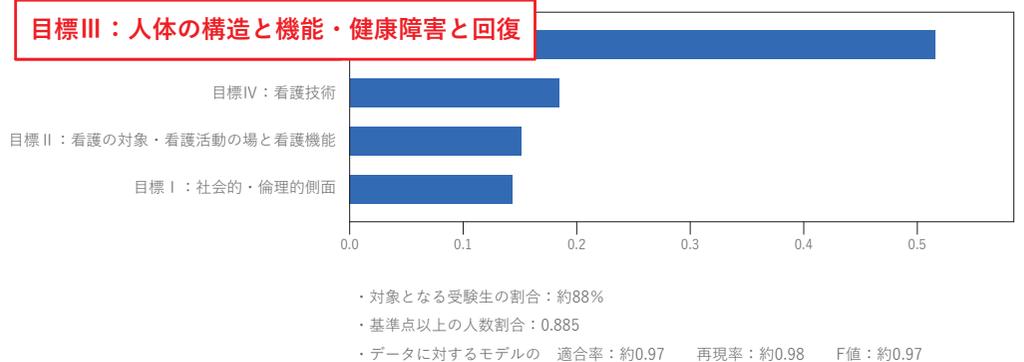


考えるほど間違える

AI解析①必修問題

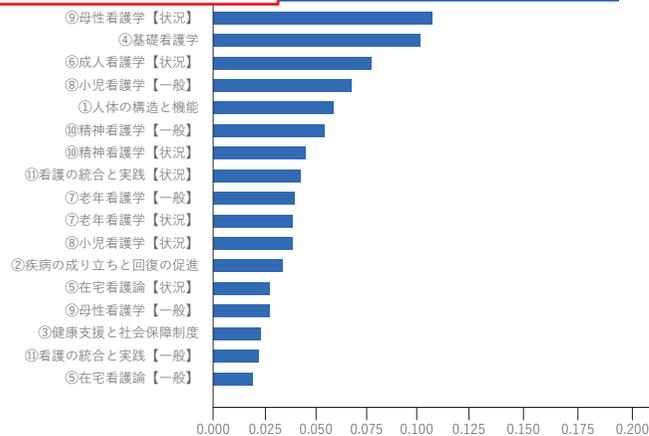


AI解析②必修問題 (得点率0.87以上)



AI解析③一般・状況設定問題（得点率0.67以上）

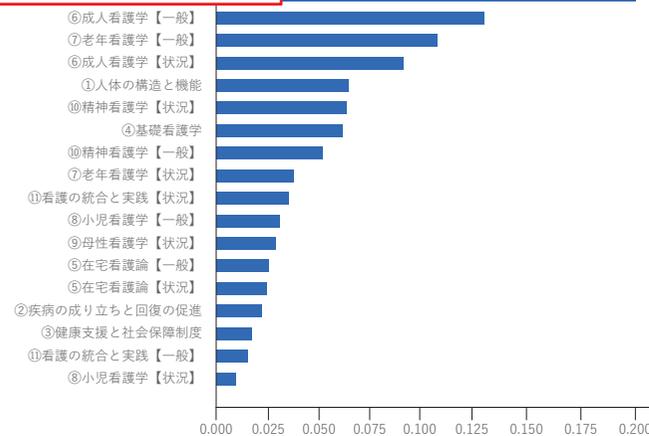
⑥成人看護学【一般】



・対象となる受験生の割合：約96%
 ・基準点以上の人数割合：0.956
 ・データに対するモデルの適合率：約0.98
 再現率：約0.98
 F値：約0.98

AI解析④一般・状況設定問題（得点率0.85以上）

⑨母性看護学【一般】



・対象となる受験生の割合：約18%
 ・基準点以上の人数割合：0.184
 ・データに対するモデルの適合率：約0.67
 再現率：約0.73
 F値：約0.70

第111回 IRT解析による暗記型・思考型の割合

暗記型

201問（83.8%）

不変型：88問（36.7%）
 上昇型1度：57問（23.8%）
 上昇型2度：56問（23.3%）

思考型

37問（15.4%）

上昇型3度：21問（8.7%）
 上昇型4度：16問（6.7%）

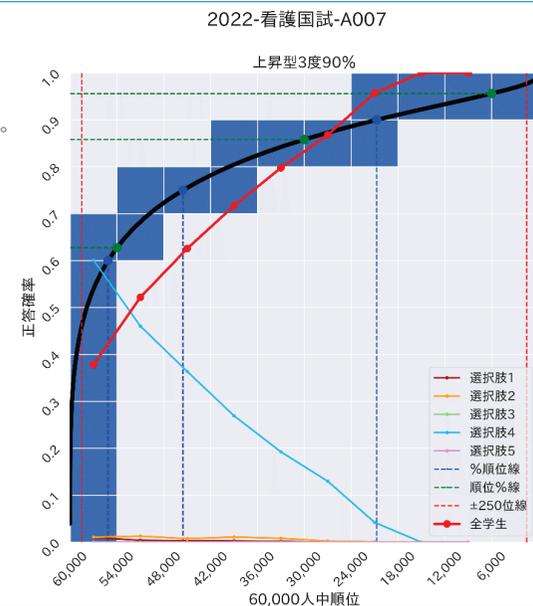
※下降型：2問（0.8%）

胎児循環

胎児循環で胎児から胎盤に血液を送るのはどれか。

1. 総頸動脈
2. 肺動脈
3. 臍動脈
4. 臍静脈

[午前問題7] 正答率81.5%



胎児循環で酸素を最も多く含む血液が流れているのはどれか。

1. 肺動脈
2. 肺静脈
3. 臍動脈
4. 臍静脈

[第108回]

午前7番 正解者と不正解者の平均点の違い

	必修	一般・状況
正解者	47.58	200.91
不正解者	45.11	187.97

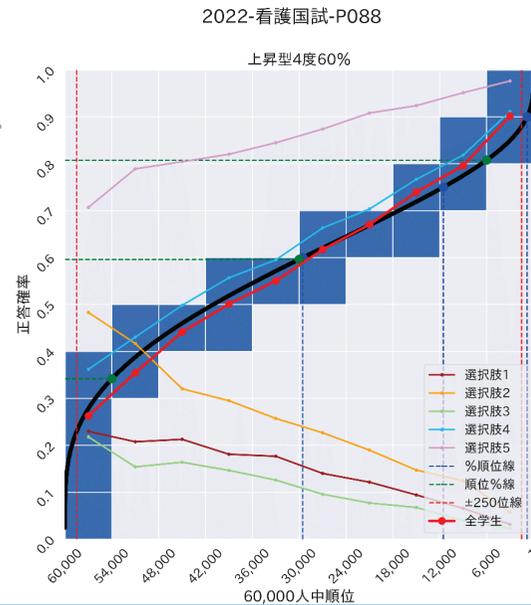
予防接種

予防接種に生ワクチンが使用される疾患はどれか。

2つ選べ。

1. ジフテリア <diphtheria>
2. 日本脳炎 <Japanese encephalitis>
3. 破傷風 <tetanus>
4. 結核 <tuberculosis>
5. 麻疹 <measles>

[午後問題88] 正答率58.4%



午後88番 正解者と不正解者の平均点の違い

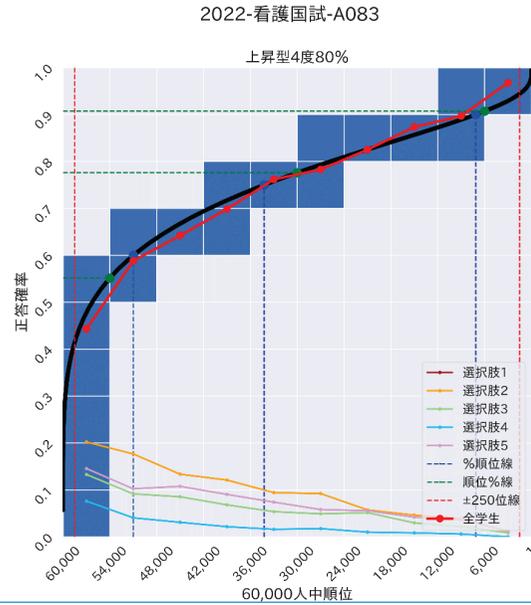
	必修	一般・状況
正解者	47.62	203.06
不正解者	46.43	192.13

タイムアウト

タイムアウトによって予防できるのはどれか。

1. 患者の誤認
2. 抗がん薬の曝露
3. 個人情報の漏洩
4. ベッドからの転落
5. 血液を媒介とする感染

[午前問題83] 正答率74.9%



医療安全と関連する方法の組合せで誤っているのはどれか。

- 院内感染対策 ———— プライマリナーシング
- 2. 事故防止対策 ———— インシデントレポート
- 3. 医療の質の保証 ———— クリニカルパス
- 4. 手術時の安全対策 ———— タイムアウト

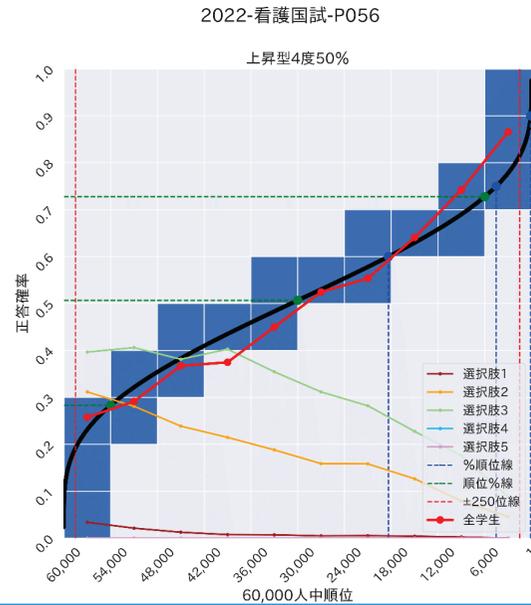
[第105回] 正答率99.7%

高齢者の薬効

高齢者に経口薬の薬効が強く現れる理由はどれか。

1. 骨密度の低下
2. 胃酸分泌の減少
3. 消化管運動の低下
4. 血清アルブミンの減少

[午後問題56] 正答率50.6%



老化による身体機能の変化と薬物動態への影響との組合せで正しいのはどれか。

- 血中蛋白の低下 ———— 薬効の減少
 - 2. 腎血流量の低下 ———— 増大
 - 3. 肝血流量の低下 ———— 薬効の増大
 - 消化機能の低下 ———— 薬効の増大
減少
- [第109回] 正答率54.8%

加齢による薬物動態への影響で正しいのはどれか。

1. 半減期が短縮する。
2. 水溶性薬物の血漿濃度が低下する。
3. 脂溶性薬物が体内に蓄積しやすくなる。
- 血漿蛋白と結合する薬物は薬効が低下する。
強く現れる

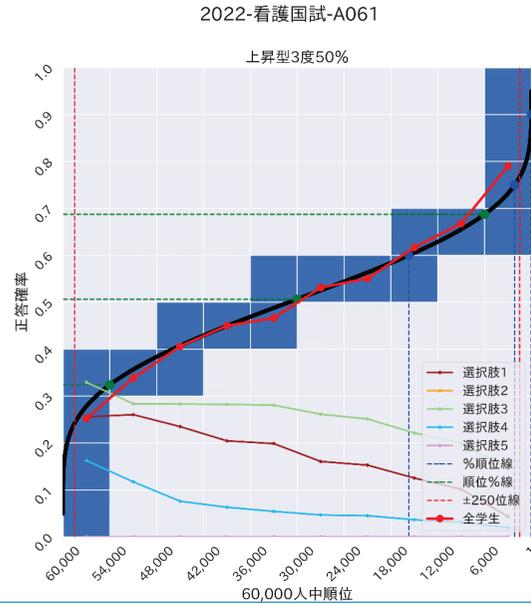
[第99回]

ジェンダーの定義

ジェンダーの定義について正しいのはどれか。

1. 生物学的な性
2. 社会的文化的な性
3. 自己認識している性
4. 性的指向の対象となる性

[午前問題61] 正答率50.6%



セクシュアリティの意義と関連する事項の組合せで正しいのはどれか。

1. 生殖性の性 ———— ジェンダー
2. 性別としての性 ———— 常染色体
3. 連帯性としての性 ———— 種の保存
4. 性役割としての性 ———— 社会的規範

[第104回] 正答率37.1%

避妊法

避妊法について適切なのはどれか。

1. 経口避妊薬は排卵を抑制する。
2. コンドーム法の避妊効果は99%以上である。
3. 基礎体温法は月経が不順な女性に有用である。
4. 子宮内避妊器具 (IUD) は性交のたびに挿入が必要である。

[午前問題63] 正答率76.2%

成熟期女性の受胎調節について適切なのはどれか。

1. 経口避妊薬は女性が主導で使用できる。
2. コンドーム法の避妊効果は99%以上である。
3. 基礎体温法は月経が不順な女性に有用である。
4. 子宮内避妊器具 (IUD) は経産婦より未産婦に挿入しやすい。

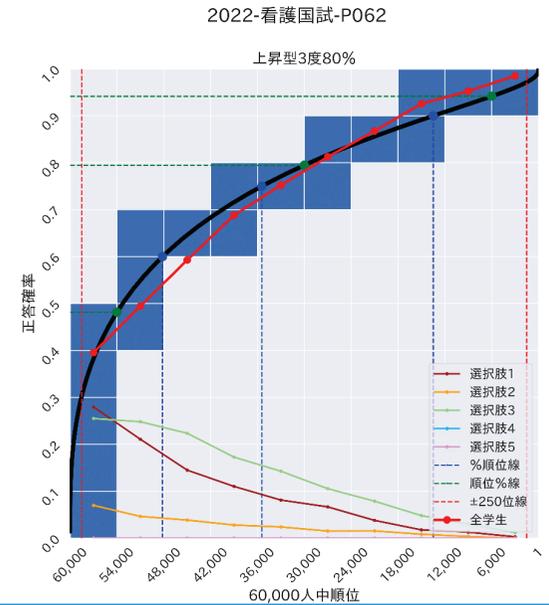
[第106回] 正答率70.0%

性周期

性周期とホルモンについて正しいのはどれか。

1. 増殖期は基礎体温が上昇する。
2. プロラクチンによって排卵が起こる。
3. プロゲステロンは子宮内膜の増殖を促進する。
4. 排卵直前に黄体形成ホルモン (LH) 値が高くなる。

[午後問題62] 正答率74.9%



女性の生殖機能について正しいのはどれか。

1. 子宮内膜は排卵後に増殖期となる。
2. 黄体期の基礎体温は低温期となる。
- ③ エストロゲンは卵巣から分泌される。
4. 排卵された卵子の受精能は約72時間である。

[第101回]

性周期で正しいのはどれか。

1. 卵胞はプロゲステロンの作用で発育する。
- ② 子宮内膜はエストロゲンによって増殖する。
3. 排卵後に黄体化ホルモン(LH)の分泌が急激に増加する。
4. 受精が成立しないと、卵胞は白体を経て黄体になる。

[第100回]

性周期とホルモンについて正しいのはどれか。

1. 卵胞期の体温は上昇する。
2. 卵胞刺激ホルモン(FSH)は視床下部から分泌される。
3. 妊娠が成立しない場合の黄体の寿命は20日間である。
- ④ 成熟卵胞に黄体化ホルモン(LH)が作用して排卵が起きる。

[第98回]

本日のまとめ① ～国試合格のための指導のポイント～

I) AI分析の結果、国試合格の鍵を握るのは

必修攻略 = (**目標III**)

一般・状況攻略 = (**成人**)

※成績上位者は積極的に母性に取り組んでいる

本日のまとめ② ～国試合格のための指導のポイント～

II) 学習には過去問を活用

過去問演習によって得られたであろう点数

必修問題 : (**46**) 点

一般・状況問題 : (**187**) 点

単純暗記を侮らない

誤答の選択肢までしっかり復習する

入院中の小児のストレス因子と発達段階の組合せで正しいのはどれか。

1. 見慣れない環境 ————— 新生児期
2. プライバシーの侵害 ————— 幼児期
- ③ 病気の予後への不安 ————— 学童期
4. 母子分離 ————— 思春期

入院中の小児の主なストレス因子と発達段階との組合せで適切なものはどれか。

1. 母子分離 ————— 新生児期
2. プライバシーの侵害 ————— 幼児期
- ③ 治療的処置への恐怖 ————— 学童期
4. 見慣れない環境 ————— 思春期

[午前問題59] 正答率86.7%

[第87回]

本日のまとめ③
～国試合格のための指導のポイント～

III) 新出題基準で新たに追加された項目の対策

(**模擬試験の活用**)

IV) 真の学力を把握することが100%合格への条件

(**IRTの活用**)

掲載問題（第111回国試）の解答

資料番号	問題	正答
18	午前問題 7	3
21	午後問題88	4・5
23	午前問題83	1
25	午後問題56	4
27	午前問題61	2
30	午後問題62	4

第111回課程別合格状況

区分	新卒				既卒			
	出願者数	受験者数	合格者数	合格率	出願者数	受験者数	合格者数	合格率
3年課程	49,358	49,140	47,929	97.5%	2,967	2,835	1,448	51.1%
大学	23,548	23,470	23,040	98.2%	905	856	470	54.9%
短期大学	1,108	1,102	1,056	95.8%	235	225	114	50.7%
養成所	24,702	24,568	23,833	97.0%	1,827	1,754	864	49.3%
2年課程	6,431	6,381	5,863	91.9%	2,201	2,048	625	30.5%
短期大学	81	78	62	79.5%	29	27	12	44.4%
養成所	3,641	3,621	3,470	95.8%	471	448	162	36.2%
高等学校専攻科	211	210	200	95.2%	56	50	12	24.0%
通信制	2,498	2,472	2,131	86.2%	1,645	1,523	439	28.8%
高校・高校専攻科 5年一貫教育	3,316	3,296	3,164	96.0%	455	425	115	27.1%
EPA	124	124	1	0.8%	252	246	43	17.5%
受験資格認定	211	207	100	48.3%	245	219	45	20.5%
該当なし	-	-	-	-	124	104	11	10.6%
計	59,440	59,148	57,057	96.5%	6,244	5,877	2,287	38.9%

第111回選択肢・状況設定問題の出題形式

一般問題の5肢択2は8問減り、4肢択1が7問増えました。
計算問題は1問増えました。

第111回	必修		一般				状況設定		
	4肢択1	5肢択1	4肢択1	5肢択1	5肢択2	計算	4肢択1	5肢択1	5肢択2
午前	24	1	51	9	4	1	28	0	2
午後	25	0	51	10	3	1	24	3	3
合計	49	1	102	19	7	2	52	3	5
第110回	49	1	95	19	15	1	52	3	5

1問増加

第111回状況設定	3連問	2連問	単問
午前	10	0	0
午後	9	1	1
合計	19	1	1
第110回状況設定	20	0	0

午後118・119：1事例2連問
午後120：単問として出題

文字数

	午前	午後	合計
第111回	17,887 + 2,369	17,419 + 1,245	35,306 + 3,614
第110回	15,518	16,174	31,692

視覚素材問題数

	午前	午後	備考
第111回	2	0	全て一般問題
第110回	2	0	全て一般問題

変更なし

教材付き体験講座

☑ ABCD 各教材 ☑ 講義 (90分) ☑ ガイダンス ☑ 特典

全て付いてこの価格！

※お一人様/税込

A コース

3,000 円



- ・【赤本】これで完璧！
看護国試必修完全攻略集
2023 年版 (定価：3,600 円)
- ・過去問解説講義 90 分
- ・ガイダンス

B コース

6,000 円



- ・【黒本】これで完璧！
看護国試過去問完全攻略集
2023 年版 (定価：6,600 円)
- ・過去問解説講義 90 分
- ・ガイダンス

＊オプション

黒本小テスト 300 問 1,000 円 (税込/お一人様)

C コース

1,000 円



- ・さわ研講師の解剖ノート
(定価：1,200 円)
- ・わかりやすい解剖講義 90 分
- ・ガイダンス

低学年にも
おすすめ！

D コース

1,000 円



- ・第 111 回看護国試解説集
(定価：1,100 円)
- ・過去問解説講義 90 分
- ・ガイダンス

特典として赤本と黒本(受験学年・中間学年)、解剖ノート(一年生)を 一冊献本 いたします。

▶ 対面・Zoom・動画にて承ります。

▶ 8月、12月、1月を除き実施可能です (※動画配信は全期間実施可能)。

※各学校様受験学年・低学年で各1回とさせていただきます。
課程別に2回ご希望される場合はご相談ください。

※Bコースの黒本と、Cコースの解剖ノートは弊社直接販売のみとなります。
(書店での取り扱いはございません)

体験講義(90分) <45分×2コマ>

- ◇ 該当教材を使った勉強法
- ◇ 実際の国家試験問題を使った解説講義

国試に精通した
予備校講師の
講義を体験!

ガイダンス(無料オプション) 対象学年に合わせた内容のガイダンスを行います。

✿ **受験学年** 動画 45分×2コマ
国家試験の概要+第111回国試問題を使用した講義

✿ **中間学年** 動画 45分×1コマ
実習と国試対策を両立させる勉強方法

✿ **1年生** 動画 45分×1コマ
看護の勉強の仕方、ノートの取り方

無料ガイダンスのみのお申込みも承ります。

テキスト割引プラン(早割やセット割)もご用意ございます。
詳細はホームページまたは別途チラシをご確認ください。

【お申込み方法】

教材付き体験講座をご希望の教員の方は弊社ホームページよりお申込みください。

■ さわ研究所TOP画面から

1. さわ研究所TOP画面上部の「教員の方」をクリック
2. ページ下部「教材付き体験講座・無料ガイダンス」のボタンをクリック

教材付き体験講座
・
無料ガイダンス

■ QRコードから

QRコードを読み込む
※「ガイダンスのご案内」ページ
が開きます



教材購入に関するご質問、ご相談などにつきましては、
さわ研究所東京本社または担当営業までお問い合わせください。

看護国試専門予備校 さわ研究所 東京本社

Tel: 03-6810-0538 (平日9:00~18:00)

<https://www.sawa-kenkyujo.com/>

 @sawa_kenkyujo

 @sawa_kenkyujo



IRT 解析付き

第111回国試を用いた実力判定 Web テスト

無料

1. 申込校に「第111回看護国試解説集」を1冊プレゼント！
(定価 1,100 円 / 税込)
2. 全問解説
3. 全国成績判定
4. IRT 解析
5. 復習機能 (下記参照)

有料オプション

解説講義動画
45分 × 3 コマ
1,000 円 (税込 / お一人様)

今年の問題で
いち早く国試対策!

「第111回国家試験実力判定 Web テスト」申込受付中!

実施期間 2022年4月4日 ~ 2023年3月31日

問題数 240 問 (第111回看護師国家試験問題)

価格 1,000 円 (税込) / お一人様

オプションにて 45 分 × 3 コマ 1,000 円 (税込 / お一人様) の解説講義をお受けいたします。

◆さわ研 Web の特徴は充実した復習機能!

- ✓ 間違えた問題
- ✓ 自身の正答に関係なく、試験中に要確認とチェックした問題
- ✓ 間違えた問題の中でも、全国正答率 60% 以上の問題

これらの問題を選択し、何度でも復習し放題! だから力がつく!!

その他模試も多数ご用意しております。

IRT 解析の詳細やご質問については、担当営業またはさわ研究所本社までお問合せください

さわ研究所から

この時期だからこそ!

看護師国家試験対策のご提案

Web

専門基礎模試

+

解説動画 (45分 × 3コマ)

= **1,500**円 (各種 お一人様 / 税込)

【模試種類】 4月1日(金) ~ 受験開始

✿ 『人体の構造と機能 No.34 (解剖生理学)』

✿ 『疾病の成り立ちと回復の促進 No.34 (病態生理学)』

さわ研Web模試の充実した復習機能

- ☑ 間違えた問題
- ☑ 間違えた問題の中でも、全国正答率の高い問題
- ☑ 自身の正答に関係なく、試験中に要確認と選択した問題

これらの問題を選択し、何度でも復習し放題! だから力がつく!!

2022年度 さわ研 Web 模試ラインナップ

- 第111回看護国試実力判定 Web テスト IRT 解析付き
【240問 1,000円（お一人様 / 税込）】
- 第1回全国模試（基礎編）
【240問 1,500円（お一人様 / 税込）】
- 第2回全国模試（実践編） IRT 解析付き
【240問 1,500円（お一人様 / 税込）】
- 必修模試 100問 No.4
【100問 1,000円（お一人様 / 税込）】
- 専門基礎模試 50問 「人体の構造と機能 No.34（解剖生理学）」
【50問 500円（お一人様 / 税込）】
- 専門基礎模試 50問 「疾病の成り立ちと回復の促進 No.34（病態生理学）」
【50問 500円（お一人様 / 税込）】

【無料オプション】

全模試に出題問題より厳選した1問の解説動画（約10分）が付きます。

【有料オプション】

- ・ 重要問題解説講義（3コマ） 1,000円（お一人様 / 税込）
- ・ オリジナル弱点補強講義（6コマ） 6,000円（お一人様 / 税込）

詳しいご案内は、弊社ホームページにてご確認ください。

■ さわ研究所TOP画面から

1. さわ研究所TOP画面上部の「教員の方」をクリック
2. ページ下部「Web模試」のボタンをクリック

学校団体専用

Web 模試

お申込み・ログイン

Web模試に関するご質問、ご相談などにつきましては、
さわ研究所東京本社または担当営業までお問い合わせください。

看護国試専門予備校 さわ研究所 東京本社

Tel:03-6810-0538(平日9:00~18:00)
<https://www.sawa-kenkyujo.com/>



 @sawa_kenkyujo

 @sawa_kenkyujo



はじめの一步

春期講習

無料招待!

動画 SAWA OD

心不全・COPD

▼春期講習で国試対策のはじめの一步を踏み出そう!

内容

春のスタートに最適な国試頻出の疾患を取り扱います。
解剖→疾患→看護につながるさわ研の講義で実習にも必ず役立つ知識を
しっかり学習できます。

国家試験によく出る
心不全、COPD など

コマ数・価格

SAWA OD (動画講義)
45分 × 2コマ

= 無料

SAWA ODのご案内

【お申込み期限】

2022年7月31日(日)まで

【視聴開始日】 2022年3月22日(火)～

2023年2月(第112回国試当日朝まで)



好きな時にいつでも
勉強できるよ!

- お申込み -

まずはさわ研Webログイン画面へアクセス！
※ホームページの講座申込からもアクセスしていただけます。

さわ研Web



1. 右記QRコードよりさわ研Webログインページにアクセス(会員登録が必要です)

2. 会員登録



PC、スマートフォンから
申込みができるよ！



3. 講座を選択肢カートに入れる(「SAWA OD 春期講習」は無料です)

申込完了!!

- 受講方法 -

・視聴開始日 3月22日(火)～
さわ研Webログインページへログイン

○さわ研webにログインする



○該当の講座の[受講する]ボタンをクリック



※視聴開始日以降に右のボタンが
[詳細]から[受講する]に変わります。

視聴開始!!

視聴期間中は上記方法で何度でも視聴可能です！



※視聴にはインターネットにアクセスできるスマートフォンやパソコン、タブレットなどの端末が必要です。
※通信料は利用者の自己負担となります。
※Wi-Fi環境でのご利用を推奨いたします。

